

6/4 月祝

# ノババツクス

## 県内接種開始

国内で由種類目の新型コロナワクチンワクチンとなる、ノババックス製ワクチンの接種が四日、県内で始まった。初回は予約した七十九人が接種を受けた。発熱などの副作用が少ないとされ、既に他のウイルスへの活用実績のある技術を使ったワクチンであることはかぎり、これまで他社製ワクチンの接種をためらっていた人の利用が期待される。=新型コロナ問題の面(水野志保)

**初日79人**

ノババックス製は、オミクロン株の流行前までしが臨床試験(治験)のデータがない

が、二回の接種で約90%の抗体予防効果が確認されている。ファイサー製とモデルナ製に含まれる成分アレルギーを起す懸念がある人にとっては新たな候補肢になる。これまでアストラゼネカ製が代替品となっていたが、「いまま

ノババックスの  
新型コロナワクチン \*イメージ  
ウイルスの遺伝情報(DNA)を基に、  
昆蟲の細胞に突起状タンパク質(?)を作らせる  
ウイルス  
昆蟲の細胞  
複数の突起状タンパク質を粒状に  
まとめ(?)免疫反応を活性化する  
物質(?)とともに注射

ノババックス製ワクチン  
み換えたんぱくワクチンで、製組  
造は武田薬品工業が担う。新型コロナバロナ  
ウイルスの表面にある突起状タンパク質の遺伝子を元に作られた組み換えた物質と一緒に注射することで、体内で抗体を作りせる。B型肝炎などで既に同じ仕組みのワクチンが活用されている。これに対して、ファイサー製とモデルナ製は messenger RNA (mRNA) A) という新しい仕組みでつくれたワクチン。タンパク質の設計図を体内に伝え、人の細胞自体に突起状タンパク質を作らせる。



ノババックスのワクチンを接種する男性=4日、福井市のエルバプラスで

## ワクチン接種拡大期待

れに血栓症を起こす可能性があり、国が二回目接種での使用を認めていなかった。

県健康接種会場のエルバプラス(福井市)では前日から始まった接種では、事前に予約した人が間診を済ませた上でワクチンの接種を受けた。二回目まで他社製ワクチンを接種した福井市の会社員、錦古里貴弘さんは「副反応が少ないと聞いたので、ノババックス製にした。打った感じでは今までのワクチンと違はない」と話した。

県によると、一日時点で十歳以上の新型コロナワクチンの回盲接種率は69%で、十六~三十九代は50%以下となりっている。県健康福祉部の齋藤亮宏課長は「若く世代にワクチンを接種してもらうことは、感染予防に大きな効果となる。ぜひこの機会を利用して若い世代にもワクチンの接種をお願いしたい」と呼び掛けた。

県はノババックス製ワクチンの接種枠を四、十八、二十五の三回間で三百八十人分設けている。十八日はすでに八割程度が埋まり、二十五日は余裕がある。県のほか、福井市と越前市もノババックス製ワクチンの接種を実施する予定。